

教師説明型

児童生徒実践型



長野県大田市立大町西小学校
小林 誠

実践テーマ

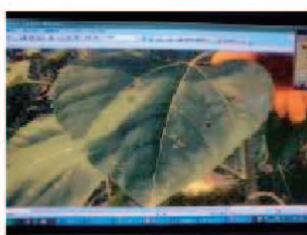
児童の作品を電子黒板に大写し、作品のよいところに印をつけながら、どのように着色したかを話し合うことで、絵の具の混ぜ方や筆の扱い方のいろいろな表現方法を知り、自分の作品作りに活かすことができる。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉 ひまわりの写真を提示して、葉にはどんな色が見られ、どの絵の具を使えばよいかを確認する。
- 〈展開〉 教師が電子黒板を用いて、「パレットの使い方」「色の混ぜ方」「色の塗り方」を示範する。
- 〈まとめ〉 児童の作品を電子黒板に提示し、作品のよいところを書き込ませる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学級園のひまわりを見て下書きをしたことを振り返る。 ・ひまわりの葉の色の塗り方を教師が示範する。 ・ひまわりの葉を絵の具で塗るときに、どんな色を使って色を塗ればよいかを考える(静止画①)。 ・学習問題「元気よく伸びるひまわりの葉は、どうやって色を塗ればいんだろう。」を提示。 ・色の混ぜ方について前時に行った「パレットの使い方」を確認する。 ・ひまわりの葉の色の塗り方を例として教師が実物投影機で、手元を映し示範する(手元映像)。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ひまわりの葉の写真 ●教師の示範
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・色の混ぜ方や筆の使い方について個別に支援する(児童に色を少しずつ混ぜていくと、いくつも色ができることを発見させ、色を変えながら塗っていくよう個別に声がけをする)。 ・友だちの作品を鑑賞する(静止画②)。 ・友だちの作品を電子黒板に提示し、どこがよいかを書き込ませる。 ・再び、ひまわりの葉の色塗りを始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童作品
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習を振り返る。 	



葉の写真を提示し、どんな色で塗ればよいかを考えさせる



一例として、ひまわりの葉の色の塗り方を教師が示範



友だちの作品を提示し、よいところを書き込ませる

児童の反応・効果

- ・教師の示範の様子を電子黒板に写すことで、パレットの使い方や色の塗り方について、みんなで確認することができた。
- ・鑑賞の際、作品のよさを伝えるために電子黒板に提示し、児童によりところを書き込ませたことで、作品のよさをクラス全員で理解することができた。

活用のポイント

- ・プロジェクターと比べると、絵の具の発色が電子黒板の方が大変よい。
- ・共通理解を図るために、児童の作品のよさを電子黒板に提示することで、後ろの児童でも作品のよさを理解することができる。また、よいところを電子黒板に書き込みできるので、伝えたいことを他の児童にもしっかりと伝えることができる。